

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成30年 8月23日 (木)

2 確認箇所

- ・増設多核種除去設備
- ・既設多核種除去設備

3 確認項目

- (1) 増設多核種除去設備から既設多核種除去設備への炭酸ソーダ移送配管の設置状況
- (2) 既設多核種除去設備C系供給ポンプ下部の漏えい対策状況

4 確認結果の概要

- (1) 増設多核種除去設備から既設多核種除去設備への炭酸ソーダ移送配管の設置状況について

前回 ([平成30年6月28日](#))、増設及び既設多核種除去設備内に敷設されている炭酸ソーダ移送配管の漏えい対策等の状況について確認したが、今回は屋外に敷設されている当該配管の敷設状況を確認した。

- ・炭酸ソーダ移送配管は、増設多核種除去設備の西側から出て、地上配管のまま既設多核種除去設備の西側から内部へ敷設されていた。(写真1)



(写真1-1) 増設多核種除去設備西側の配管の敷設状況

(写真1-2) 増設多核種除去設備から既設多核種除去設備へ向かう配管の敷設状況



(写真 1 - 3) 既設多核種除去設備西側の配管の敷設状況

(2) 既設多核種除去設備 C 系供給ポンプ下部の漏えい対策状況について
 平成 30 年 7 月 10 日、東京電力社員が既設多核種除去設備 C 系供給ポンプ下部に水溜まりを発見した事象について、応急対策の実施状況を確認した。

- ・漏えい箇所は、当該ポンプのドレン弁の下流側ねじ込み部であり、確認時は漏えい防止対策として赤色の自己融着テープが巻かれたうえ、さらにドレン弁下部にビニール袋及び受けパンが設置されていた。(写真 2)
- ・確認時、漏えい痕は認められず、ビニール袋の中は乾いた状態であった。



(写真 2 - 1)



(写真 2 - 2) 左の写真の拡大

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、前日と比べ有意な変動は確認されなかった。